



# 和歌山大学 地域イノベーション機構 災害科学教育研究センター

Center for Education And Research of Disaster science (CEARD)

旧防災研究教育センターと旧宇宙教育研究所のノウハウを結集したセンターです。従来の防災に関する研究・教育はもちろんのこと、人工衛星を利用した防災研究などにも力を入れて、宇宙教育で培った人材養成を加えることで、さらに実践的な防災教育のプログラムなどの開発を行っています。

地域

地域の防災上の課題を検討するとともに、地域の再生と持続可能性も視野に入れて、まちづくり・地域づくりを協働して取り組みます。



地域資源を学ぶ南紀熊野ジオパークを応援し、地域の恵みと災いを啓発する防災ジオツアーを企画しています。

地域防災力を高めるための教育プログラムを開発するとともに、それらを実施していくことによって、地域の課題に即した防災リーダーの育成につとめます。

**研究成果を活用した教育・啓発コンテンツの開発・提供**

大学生への講義をはじめ、小学校から高校まで、また地域の防災活動で利用できるように、それぞれのニーズに合わせた様々な教材や啓発コンテンツを開発しています。それらは、地域での自主防災活動や学校にも広く利用されています。



写真右：東日本大震災 記録メッセージ写真DVD  
写真左：被災時のトイレ問題を考えるプログラム

センターに蓄積された知識や智恵、各活動の取り組み内容の効果と課題、最新の研究成果に基づく情報を広く発信していきます。

シンポジウム・セミナーの開催、講演等の要請に応じた講師派遣、研究報告書の発行



教育啓発

防災まちづくりの提案と地域との協働作業

防災に関する地域間・組織間連携の充実化

**災害科学教育研究センター活動方針**

地域の実情に則した新しい防災システムを提案し、普及に取り組みます

変化する社会に対応できる地域づくりを支援します

地域を守る人材を育成します

防災のための知識・智恵や情報の発信と人材育成

災害対応方策の指針を示すための研究の推進

国、地域自治体、企業、団体などとの共同研究  
教育委員会、学校、自主防災組織、団体などへの事業支援

地域や組織の連携によってより効果的な災害対応を行えるようにするために、それぞれのもつ防災上の課題と活用できる資源を踏まえ、地域の核として連携強化機能の役割を果たすことを目指します。

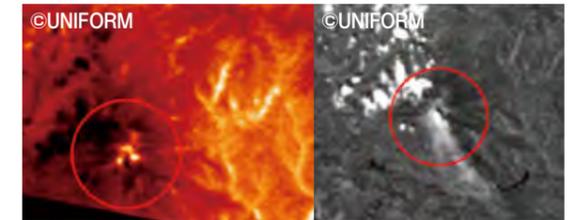
国土省大規模土砂災害対策技術センターとの連携、県土砂災害啓発センターとの連携、県社協・災害ボラセンとの連携



国土交通省近畿地方整備局との連携協定のもとに共同研究をしたり、大規模土砂災害対策研究機構に参加して、土砂災害を研究しています。また和歌山県土砂災害啓発センターとは、市民向けの防災イベントを共同開催しています。和歌山県社会福祉協議会災害ボランティアセンターとも連携しながら、災害時のボランティア活動について研究しています。

宇宙技術を使った防災研究の推進

人工衛星などを利用した災害時の情報収集や発信、またその情報を有効に活用できるようにするためのシステムを作ります。  
《宇宙教育研究推進室》



御嶽山熱源観測 御嶽山噴火 2014/09/27 11:52  
UNIFORM-1による初観測：2014/09/28 12:02



**電波通信観測施設**

12mと3mのパラボラアンテナの開発・運用・実習プログラムの開発をしています。上記の観測写真を撮影した「UNIFORM-1」衛星はこのアンテナでデータ受信をしたり、制御指示をしています。

災害の危険性や対策のあり方とその有効性を評価することによって、災害対応方策の検討に資する研究を推進していきます。

- ・紀伊半島大水害による土砂災害のメカニズムの研究
- ・災害時の情報通信の研究
- ・中山間地域での災害時対応の研究
- ・大規模災害時に人工衛星を利活用した情報収集の研究

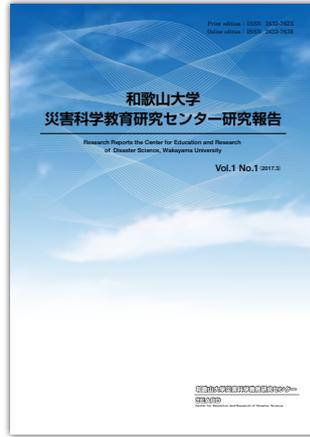
他多数

連携

研究

## ● 災害科学教育研究センター関係の 刊行物・ホームページ

センターの研究成果を、研究報告書にまとめて、年1回発行しています。研究報告書のバックナンバーや、イベント等の情報は、センターのホームページでもお知らせしています。また、和歌山県防災情報共有プラットフォームWEBサイト「あがら防災」では、災害の情報などを見やすくしたり、自治体ごとに作成されている防災マップにすぐにアクセスできるようにして提供しています。



災害科学教育研究センター

検索

あがら防災

検索

## ● 最近の教育啓発活動

### ● 防災カフェ

飲み物を片手に、研究者や専門家の話を気軽に聞いたり、ざっくばらんに質問したりできる場です。



### ● 防災セミナー

大学生のみならず、一般の方にも参加しやすい公開セミナーです。

### ● 防災ジオツアー

2015年より那智勝浦町において開催しています。和歌山県南部には南紀熊野ジオパークがあるので、国土交通省近畿地方整備局や和歌山県と協力して、大地の成り立ちと地域の災害や恵みなどの資源を伝えていくツアーを開発しています。地質や砂防技術の専門家などの解説も聞きながら、現地を歩くことができます。



### ● 防災・日本再生シンポジウム



2013年より、和歌山県北部（和歌山市）と南部（田辺市）の会場で開催しています。毎回違ったテーマを設け、幅広く防災への興味・関心を持っていただける内容づくりをしています。

## ● 最近の研究トピック

### ● 防災/減災・農業ICT化に向けた取り組み

M2M技術・IoT技術を実践し、少子高齢化時代の地域の生活と安全を守る地域密着型のシステムの実用化を進めています。

国土交通省紀伊山地砂防事務所、大規模土砂災害対策研究開発機構、NESTRA（次世代宇宙システム技術研究組合）等と共同で実施しています。また和歌山県庁や県内企業と協力し、本システムの整備・メンテナンス産業の育成を目的の一つとした宇宙分野に関する勉強会（WARP）を開催しています。



### ● 僻地の土砂災害発生地における地上センサを使った計測

紀伊山地砂防事務所・NESTRAと協力し、携帯電波の届かない山奥の被災地において計測した雨量や水位を、地球低軌道周回衛星を使って安価にインターネット上のサーバに転送できるシステムの実証試験を実施しています。

## ● お問い合わせ

〒640-8510 和歌山市栄谷930  
 事務室：総合研究棟 2階 201室  
 Tel：073-457-7558 Fax：073-457-7593  
 E-mail：bousai@center.wakayama-u.ac.jp  
[ホームページ](http://www.wakayama-u.ac.jp/bousai/) http://www.wakayama-u.ac.jp/bousai/

### 〈宇宙教育研究推進室〉

Tel：073-457-8503 Fax：073-457-8535  
 E-mail：ifes\_info@ifes.crea.wakayama-u.ac.jp

センター研究室  
 （産学連携・研究支援センター棟2階）

災害科学教育  
 研究センター事務室  
 （総合研究棟2階）

電波観測通信施設

